

# 季節の花を用いた大型空間ディスプレイの制作

フラワーファクトリ科

3年草花A班 13名

## 1、目的

近年花業界で求められる人材はフラワー装飾に関する技術を幅広く持っていることであり、従来の西洋から伝わったフラワーアレンジメントの知識や技術だけでなく、日本古来より継承されてきた華道の技術を持っていることが有効である。本研究では、長年花業界に携わってきた専門家の方から講義および指導を受け、実際に制作することを通して広い空間を飾る大型ディスプレイの制作技術を身につけることを目的としており、3年間継続して実施している内容である。

## 2、実施内容

平成31年度 秋	剣山方式の実習	個人で制作
令和2年度 秋	投げ入れ方式の実習	個人で制作
令和2年度 冬	投げ入れ方式の実習（大作）	1名あるいは2名1組で制作
令和3年度 秋	投げ入れ方式の実習	個人で制作
令和3年度 冬	投げ入れ方式の実習（大作）	1名あるいは2名1組で制作

## 3、作品写真

令和3年度 冬（令和4年1月17日） 投げ入れ方式の実習（大作）



（使用した花材）

枝物：ウメ・アカメヤナギ

花物：カラー・アルストロメリア・ストック・シンビジウム・キク・トルコギキョウ・

葉物：オオタニワタリ・ドラセナ・ガマズミ

## 4、感想

・ウメやアカメヤナギの枝など今まで使ったことのない花材も多く、すごく新鮮で楽しく花を生けることができた。卒業式の装飾といった残り僅かな装飾を全力で楽しみたい。

・同じ花材を使っているのに、みんなの完成品が異なり楽しかった。

・隙間が大きく開いていると何か入れないといけないと思うことがあるが、その空間を楽しむのが良いというのを聞き納得した。

・人の手で無理やり形を作るのではなく、花や枝の姿を見て作った。自分でも納得がいく作品ができた。みんなの作品も最初の頃に比べると上達していて、凄いと思った。卒業しても華道が続けたい。